学校番号	315

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	2025 化学入試問題集（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「化学演習」では、問題演習・既習事項の復習を主に行います。これらの活動を通して化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な自然観を育成するとともに、皆さんの進路実現に向けた学習支援を行っていきます。受講に際し、予習・復習が必須の科目であることを再度確認しておきます。

2　学習の到達目標

①知識の習得
化学基礎・化学の基本的な概念、法則および理論を理解し、説明することができることをめざす。
②実践的技能の向上
基本的な実験技術を演習・実習を通して取得し、将来安全かつ正確に実験を遂行できることをめざす。
③総合的な理解と応用力
様々な問題演習を通して、得られたデータや情報を批判的に評価し、化学的な方法に基づいて新たな問いを立て、自ら探究する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学基礎・化学に関して、実践的な演習問題を解くための基礎的な知識・技能を身につけている。	化学基礎・化学に関して、実践的な演習問題を解くプロセスを理解し、問題内の情報・条件に応じて適切な判断・表現ができるようにする。	進路に向けて、自らの弱点を把握できるようにする。その弱点に対して、学習の方法を工夫することで修正していくことができるようにする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	化学基礎の復習・問題演習	物質の構成 物質の構成粒子 粒子の結合 結晶の構造 物質量と化学反応式 酸と塩基 酸化と還元	a：化学基礎について基本的な知識・技能が身についている。 b：化学基礎について、知識・技能をもとに与えられた条件に対して適切な判断・表現ができる。 c：発展的な内容にも積極的に取り組む。	問題演習 確認テスト	問題演習 レポート 確認テスト	レポート 振り返りシート 各提出物への工夫や取り組み状況
	化学の復習・問題演習	物質の三態と状態変化・気体 溶液 化学反応と熱・光 電池と電気分解 化学反応の速さとしくみ 化学平衡	a：化学について基本的な知識・技能が身についている。 b：化学について、知識・技能をもとに与えられた条件に対して適切な判断・表現ができる。 c：発展的な内容にも積極的に取り組む。			
2学期	化学の復習・問題演習②	非金属元素とその化合物 金属元素とその化合物 有機化合物の特徴と炭化水素 アルコールと関連物質 芳香族化合物 天然有機化合物 合成高分子化合物 日常生活に関連した化学 化学実験の基礎	a：化学について基本的な知識・技能が身についている。 b：化学について、知識・技能をもとに与えられた条件に対して適切な判断・表現ができる。 c：発展的な内容にも積極的に取り組む。	問題演習 確認テスト	問題演習 レポート 確認テスト	レポート 振り返りシート 各提出物への工夫や取り組み状況

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	総合演習・進学後への取り組み	これまでの問題演習をもとにより分野横断的な問題演習を行う。 また、進学後に向けて再度「化学」の内容で必要な範囲を学習することで教養を深める。	a:多様な問題に対し、分野横断的な知識・技能を発揮できる。進学後に向けて必要な知識・技能を身につけている b:多様な問題に対し、知識・技能を用い、的確な思考判断を行える。また、表現につなげられる。 c:演習問題を行った後も、解説を確認したり、誤答の原因を探究したりできる。進学後に向けて積極的に自らに足りない分野の学習に取り組んでいる。	問題演習	問題演習 レポート	 レポート 振り返りシート 各提出物への工夫や取り組み状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度